



SMILE ASIA in Cambodia

Quality of Life and Happiness for Women and Children

～ 2022 年度の活動レポート ～

世界各地でコロナ禍が収束へ向かいつつある中、カンボジアにおいても人々の日常が取り戻されつつあります。2022年度は、2年ぶりに通常のベーシックリテラシークラスを開講したほか、前年度にパイロット実施をしたポストリテラシークラス(一定期間の基礎的な識字学習を終えたあと、識字能力の維持と向上のために継続して行われる識字教育クラス)の実施期間を延長し、計5つの村でSMILE識字クラスを再開することができました。個人・法人の皆さまの温かいご支援に改めて御礼申し上げます。

プロジェクトサイト



2022年度のSMILEプロジェクトは、前年度に引き続き首都プノンペンから65kmあまり離れたコンボンスプー州サムロントン郡センデイ地区で開講されました。サムロントン郡のなかでも、特に教育レベルが低く、識字課題も大きいとされる地区です。地区関係者の要望に基づき、今回が識字クラス開講初めてとなる2つの村と、前年度のパイロット実施でポストリテラシープロジェクトに参加した3つの村でSMILEプロジェクトを実施しました。この地域には電気は普及していますが、水道は整備されていません。学習者の3割は雨水を飲料として利用し、更にそのうち3人に一人は煮沸の習慣もない状況でした。衛生に関する知識が乏しいことから、体調を崩す人々も多かったそうです。また、事前のニーズ調査では、家庭内暴力やアルコールの乱用などの問題も報告されています。



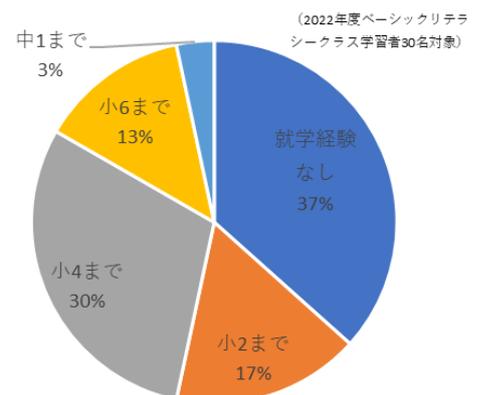
左) ポストリテラシークラスが開講された村の施設
中央・右) のどかな田園風景が広がります

学習者のみなさん

ベーシックリテラシークラスでは30名の女性が基礎的な読み書きの学習に取り組みました。この方々の過去の教育経験は右のグラフの通りです。中学校1年生で退学を経験した1名を除き、他の学習者は全員、小学校卒業に至らず、4割近くが全く学校に通ったことがありませんでした。小学校に数年通ったことがあったとしても、退学後の生活で文字の読み書きを活用する機会が殆どなかったことから、多くの学習者は十分な識字能力が不足し、日常生活に困難を抱えている「準識字者」であるケースが大多数です。

ポストリテラシークラスで学んだ45人では、6割が比較的高い読み書きをこなし、2割強が基礎的な読み書きレベル、残り数名は準識字者レベルでした。

Q. 何年生まで学校に通いましたか



ファシリテーター研修



SMILE では先生役を務めてくれる方を「ファシリテーター」と呼びます。今回新たに識字クラスが開設された2つの村のファシリテーターを対象に、3日間の事前研修と、2日間の中間研修（リフレッシュ研修）を実施しました。

ファシリテーターは自治体や村の関係者による推薦と、現地協力団体である CWDA によるコミュニティでの聞き取り調査に基づき選定されます。地域の幼稚園教諭や、時には元小学校教諭がその役割を担うこともありますが、成人教育の経験がある方はまずいません。そのため、ファシリテーター研修では成人の学習をサポートするために必要となる概念やスキルを中心に学びます。

ファシリテーター研修の内容を一部ご紹介します

- ★ ファシリテーターの役割と責任
- ★ 成人教育の心理学と方法
- ★ 指導計画と授業計画の作成
- ★ 授業実践
- ★ 出欠リストの管理
- ★ 月次報告書の作成など



クラスの様子

クラスは基本的には土日の週2日間、1日あたり2時間です。土曜日は仕事が終わった17時以降の開始が殆どで、日曜日は早い村では朝7時からクラスが始まります。場を和ませるために、ファシリテーターによる挨拶や他愛もない会話から授業が始まり、前回の復習の後には、その日に学習する新しいトピックに関する文章や単語の学習、アルファベットの反復練習と続きます。小グループでのワークも積極的に取り入れられ、学習者が発言しやすい環境づくりに努めます。

ポストリテラシークラスでは、学習者が思い思いの本を手に取り、ファシリテーターや自治体スタッフによる個別サポートの下、読書活動を続けます。こうした学習を通して、自立的な読書週間の習得とともに、読書を通して得た知識を生活の向上に自らつなげることを目指します。



学習の成果

ベーシックリテラシークラスに参加した30人の学習者のうち、20人については一人で読み書き計算を十分にこなせるレベルまで識字能力を高めることができました。学習内容の理解は個々で差がありましたが、識字クラス開講中には学習者同士で教え合う様子が見られ、励まし合いながらクラス最終日まで全学習者が学習を継続することが出来ました。

ポストリテラシークラス学習者の中には、新たに得た知識や自信がきっかけとなり、大きな生活改善を経験した方々がいました。2人が職場での昇進を経験し、1人が村の職員として採用されたほか、読書活動を通じて得た知識を活かし、5人が起業に成功し、3人が家庭菜園や家畜の飼育などを始めて生活の向上を達成しました。また、月例会合では各家庭が抱える問題や地域の課題などが話し合われ、必要に応じて行政サービスとの橋渡しも実現しました。



現地のみなさんの声

私は5人姉妹の上から2番目として育ちました。一番上の姉は学校に一度も通ったことがありません。私は小学校に通わせてもらえましたが、家からとても距離があり、通学路も暗く静かで危険が多かったため、いつも休みがちで留年を重ねていました。家の商売を手伝わなければならなかったこともあり、14歳の時に小学校4学年で退学しました。周囲の人たちに進められて、SMILEの識字クラスを受講することになりました。教科書を読むこと、身に着けた計算技術を生活の中で活用できることが楽しいです。また、育児について学ぶことができるのも嬉しいです。識字クラスに通うようになって、お金の使い方に気を使うようになりました。また最近は、クラスで学んだアルファベットの母音を、毎日寝る前に子どもに教えたりもしています。

パイ・レイさん 32歳 2児の母
(ベーシックリテラシークラス学習者)



私は15歳の時、6年生で小学校を退学しました。退学後は、家計を支えるため、縫製工場で仕事を始め、それ以降は全く勉強をする機会がありませんでした。その後、結婚をし、二人の子どもに恵まれましたが、夫の家庭内暴力が原因で離婚をしています。あまり読み書きが得意でないため給料も低く、就学期の子ども育てるための十分な収入がありません。昨年、私の村でポストリテラシークラスが開講した時から参加しており、今年は毎週欠かさず授業に出席しています。生活技術に関する本を読むのが好きで、読書を通じて得た知識のおかげで新しい仕事を始めることができました。今は、仕事のない日に家でメイクアップサロンを開き、月に150~200ドルの副収入を得ることができています。

ソイ・シナットさん 32歳 2児の母
(ポストリテラシークラス学習者)

私は村の幼稚園で先生をしています。SMILEで識字教室の指導者を探していると耳にして、自ら立候補をし、ファシリテーターに選ばれました。幼児教育の経験しかなかったため、最初は不安がいっぱいで自信もありませんでした。しかし、CWDAのスタッフや女性局の職員、村長の励ましもあり、最後には自分を信じて、とても幸せな気持ちでファシリテーターの仕事を果たすことができました。村で子育てをしている女性の多くは、過去に小学校退学を経験しており、読み書き計算が十分にできませんでした。私の生徒たちの読み書き計算が上達し、また家庭での生活習慣にも改善がみられるようになり、大変嬉しいです。

ソウ・サカンさん 66歳
(ベーシックリテラシークラスのファシリテーター)



SMILE ASIAプロジェクトとは？

SMILEプロジェクトは、妊婦さんや小さな子どもを育てている女性を対象とした識字学習支援プロジェクトです。具体的には、読み書き計算や保健に関わる知識、ライフスキル学習の機会を提供することで、女性のエンパワーメントを促進し、更には家庭と地域の教育・保健環境をより良くしていくことを目指しています。カンボジアでは2008年に開始し、2017年までに55の村で1,220人以上の女性がSMILEに参加しました。



Supporting Maternal and Child Health Improvement and Building Literate Environment



“家族が変わり、地域が変わる。”

■ ACCUについて

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU：Asia-Pacific Centre for UNESCO）は、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の基本方針に沿って、アジア太平洋地域諸国における文化の振興と相互理解に寄与することを目的に、1971年に設立されました。持続可能な未来を構築することを目標に、ユネスコとユネスコのパートナーであるアジア太平洋諸国のNGOと連携し、様々な地域で文化と教育の分野において先駆的な活動を行っています。

■ CWDAについて

カンボジア女性開発協会（CWDA：The Cambodian Women's Development Association）は、1993年に設立された非営利組織（NGO）です。教育や保健の分野を中心に、カンボジアの女性の自立を支援し能力向上に資する事業を広く展開しています。



読み書きの力で女性に笑顔を！

カンボジアのSMILEプロジェクトは個人と企業の皆さまからの寄付によって支えられています。アジア太平洋の女性を応援するためのご支援をお願いします。

郵便振替口座：00120-7-365298

口座名義：ACCU アジアの女性識字振興募金

※ACCU は公益財団法人ですので、寄付金控除の対象となります。

